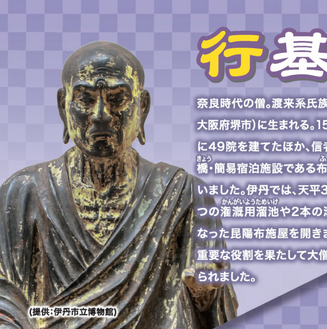
伊丹ゆかりの人物

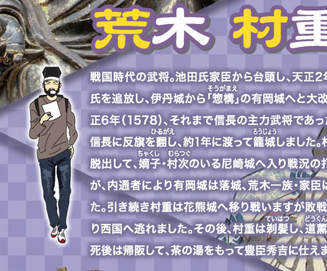
行基 ぎょうき (668~749)



奈良時代の僧。渡来系氏族出身で、河内国大鳥郡蜂田里（現大阪府堺市）に生まれる。15歳で出家、民間布教とともに、畿内に49院を建てたほか、信者や地域の協力のもとに池溝・架橋・簡易宿泊施設である布施屋をつくるなど、社会事業を行いました。伊丹では、天平3年(731)昆陽上池・同下池など5つの灌漑用溜池や2本の溝を造ったほか、昆陽寺の前身となった昆陽布施屋を開きました。後に東大寺の大仏造立に重要な役割を果たして大僧正となり、人々から「菩薩」と称えられました。

（提供：伊丹市立博物館）

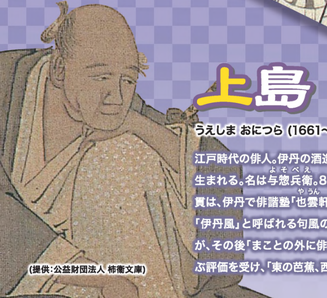
荒木 村重 あらき むらしげ (?-1586?)



戦国時代の武将。池田氏家臣から台頭し、天正2年(1574)伊丹氏を追放し、伊丹城から「惣構」の有岡城へと大改造しました。天正6年(1578)、それまで信長の主力武将であった村重が、突如信長に反旗を翻し、約1年に渡って籠城しました。村重は有岡城を脱出して、嫡子・村次のいる尼崎城へ入り戦況の打開に努めますが、内通者により有岡城は落城、荒木一族・家臣は処刑されました。引き続き村重は花熊城へ移り戦いますが敗戦し、毛利氏を頼り西国へ逃れました。その後、村重は剃髪し、道糞と号し、信長の死後は帰阪して、茶の湯をもって豊臣秀吉に仕えました。

（提供：伊丹市立博物館）

上島 鬼貫 うえじま おにつら (1661~1738)



江戸時代の俳人。伊丹の酒造家油屋上島宗春の三男として生まれる。名は与惣兵衛。8歳の頃から俳諧に親しんだ鬼貫は、伊丹で俳諧塾「也雲軒」を開いた池田宗旦らと共に、「伊丹風」と呼ばれる句風の中心人物として活躍しましたが、その後「まことの外に俳諧なし」と悟り、松尾芭蕉と並ぶ評価を受け、「東の芭蕉、西の鬼貫」と並び称されました。

（提供：公益財団法人 柿衛文庫）

毎年11月は 文化財保護強調月間 です！

伊丹市では、毎年11月を文化財に親しむことを目的とした「文化財保護強調月間」としています。この期間に、郷土・伊丹への愛着の心を育んでもらえるよう「文化財保護啓発事業」として歴史・文化財に関わる様々な催し等を実施しています。皆さんの身近なところでも関連事業が行われていますので、こうした機会にぜひ郷土の歴史・文化にふれてみてください。

「文化財を大切に！」 市内史跡一斉清掃

毎年11月の「文化財保護強調月間」にあわせ、市内3箇所の史跡で一斉清掃を行っています。清掃活動を通じ文化財を大切にする意識の輪を広げるため、ボランティアによる参加を広く呼びかけています。皆さんのご協力をお待ちしています！

史跡での一斉清掃の様子

伊丹市埋蔵文化財センター

市内埋蔵文化財の調査・研究施設として、平成29年(2017)に開館しました。市内の遺跡で発掘調査により出土した遺物や調査時に撮影・作成した写真・図面を整理し、報告書を作成するまでの業務を行っています。1階のエントランスと展示室では、市内遺跡の紹介をはじめ、出土品を中心とした、テーマに沿った企画展示を行っています。

【住　所】伊丹市桑津3丁目1-36
【電話番号】072-784-1039
【入館料】無料
【開館時間】午前9時30分から午後5時まで
【休館日】土日祝、年末年始(12月29日～1月3日)
【アクセス】・JR伊丹駅から徒歩20分
・JR伊丹駅、阪急伊丹駅から市バス「大阪国際空港」行または「岩屋循環」線でいずれも「神津」バス停下車すぐ
・お車でお越しの場合は近隣の有料駐車場をご利用ください

〈発行〉
伊丹市教育委員会事務局 生涯学習部 博物館 文化財担当
〒664-0898 伊丹市千僧1-1-1
☎ 072-784-8090

知って楽しい伊丹市の埋蔵文化財！

伊丹市 埋蔵文化財マップ

ITAMI CITY MAIZOU-BUNKAZAI MAP

史跡・文化財ガイドコース解説付き

伊丹市の歴史

伊丹市では、猪名川流域で縄文時代の終わりごろから、すでに**米作り**が行われています。その後、西野や神津地域に弥生時代のムラが形成され、つづく古墳時代には**御願塚古墳**など多くの古墳が築かれました。

奈良時代には法隆寺と同じ伽藍配置をもつ**伊丹廃寺**が緑ヶ丘に建てられました。また、名僧・**行基**が仏教の布教に訪れ、**昆陽池(昆陽上池)**や**昆陽寺**の前身である昆陽布施屋を造るなど社会事業を行いました。

猪名川西岸の猪名野は、都の貴族たちが好んで詠んだ景勝地でした。猪名川流域の開発が進むと、摂関家所有の橘御園と呼ばれる荘園が置かれました。

鎌倉時代末に登場した武士・伊丹氏は南北朝・室町時代の動乱に活躍しますが、天正2年(1574)に**荒木村重**に追放され、伊丹城は**有岡城**と改名されます。村重は堀と土塁で侍町や町屋までも取り囲み、城郭全体を防御する「**惣構**」の城に大改造しました。

天正6年(1578)、村重が織田信長に背き、約1年にわたる籠城戦に有岡城は耐えましたが、天正7年(1579)12月に落城しました。落城後、有岡城は再び伊丹城と改名され、池田恒興の嫡子・之助が城主となりましたが、天正11年(1583)廃城となりました。

村重が整備した城下町を基に発展し、文禄年間(1592～1596)には15の村から形成された伊丹郷町は、江戸時代の初め、寛文元年(1661) 11ヵ村が公家である近衛家の領地となり、**双白澄酒(清酒)**の醸造に成功した伊丹の酒は「丹醸」とよばれ、近衛家の保護のもと江戸積酒造業(江戸を市場とする酒造業)が盛んとなりました。

正徳5年(1715)には、72軒の造り酒屋が本町通り(現県道尼崎池田線)を中心に建ち並びました。伊丹郷町はその形から金嚢に見立てられるほどの財力を誇り、「伊丹酒」がもたらした豊かな経済力は文人墨客を魅きつけ、地元からは俳人・上島鬼貫を生むなど文化の華が開きました。

明治4年(1871)、廃藩置県により兵庫県に編入、明治22年(1889)に自治体として伊丹町が成立しました。明治24年(1891)には川辺馬車鉄道が開通、後の大阪と舞鶴を結ぶ阪鶴鉄道(現JR福知山線)に発展し、この地域の中心都市として栄えました。

昭和15年(1940)、稲野村と合併して伊丹市が誕生、昭和22年(1947)に神津村を編入、昭和30年(1955)には長尾村の一部を編入して現在の市域となりました。

伊丹市 史跡・文化財ガイド6コース

市内の文化財を歩いて探訪できるおすすめコース

Aコース　有岡城跡 → 伊丹郷町館 → 猪名野神社（岸の砦）

有岡城跡

●伊丹市宮ノ前3丁目地内他 ●国指定:昭和54年12月28日 ●史跡
【追加指定】●伊丹市伊丹1丁目地内他 ●国指定:昭和63年5月19日 ●史跡

天正2年(1574)、武将・荒木村重が伊丹氏を追放し、城郭全体を防御する「惣構」の城へ大改造したのが有岡城。天正5年、イエズス会宣教師ルイス・フロイスが有岡城を訪れた際に「甚だ壮大にして見事なる城」と賞賛した城である。本丸跡は、明治時代に阪鶴鉄道（現JR福知山線）敷設のため、東側を大きく失った。昭和50年(1975)から発掘調査が始まり、昭和54年に国史跡に指定され、現在は史跡公園として整備されている。

現在の様子(西蔵通り)

平成15年度 発掘調査時の様子(大清水邸跡)

伊丹郷町館（旧岡田家住宅）（旧石橋家住宅）

●伊丹市宮ノ前2丁目5番32号 ●国指定:平成4年1月21日 ●重要文化財(建造物)
●伊丹市宮ノ前2丁目5番28号 ●県指定:平成13年3月30日 ●有形文化財(建造物)

旧岡田家住宅・酒蔵は、「店舗」「洗い場・釜屋」「酒蔵」からなり、店舗は延宝2年(1674)に建てられた県内最古の町家で、年代が確実な17世紀の町家としては全国的にも貴重。酒蔵は年代が判明し、現存するものとしては日本最古。旧石橋家住宅は、江戸時代後期に建てられた商家で、建築当初の店構えを残している。

平成8年度 発掘調査時の様子(旧岡田家酒蔵内)

猪名野神社（岸の砦：有岡城跡）

●伊丹市宮ノ前3丁目6番1号 ●国指定:昭和54年12月28日 ●史跡

江戸時代は野々宮、牛頭天王を祀り「天王社」などと呼ばれた。本殿は貞享3年(1686)建立。有岡城の惣構北端を防御する「岸の砦」が置かれていた所でもあり、境内西側には土塁が残っている。

土塁

Bコース　昆陽池 → 西国街道（稲野小前の道標） → 昆陽寺

昆陽池

●伊丹市昆陽池3丁目

天平3年(731)、行基により田畑を灌漑するために築造された。行基の業績を記した『行基年譜』にある「昆陽上池」が現在の昆陽池と考えられている。昭和36年(1961)に池の東側が埋め立てられ、現在は3分の2ほどの大きさになっている。

西国街道

●伊丹市下河原から池尻1丁目

平安時代以降、京と大宰府を結んだ山陽道の江戸時代の呼称。昆陽は宿場町となり、本陣(大名・公家などの宿所)が置かれた。

昆陽寺（昆陽寺山門・昆陽寺観音堂）（広目天・多門天立像）

●伊丹市寺本2丁目169番地 ●県指定:昭和44年3月25日 ●有形文化財(建造物)
●伊丹市寺本2丁目169番地 ●県指定:平成10年4月7日 ●有形文化財(彫刻)

行基創建の昆陽布施屋（都へ往来する人々の簡易宿泊施設）の後身寺院と考えられている。その後、天正7年(1579)に織田信長の兵火にかかって堂塔を焼失したが、江戸時代に再建された。

Cコース　白洲屋敷跡 → 辻の碑 → 伊丹廃寺跡

白洲屋敷跡

●伊丹市春日丘4丁目他

白洲次郎の父、白洲文平が建てた阪神間に多数存在した屋敷のうち1つで、家が伊丹に引っ越してきたのは次郎が英国に渡航した後。伊丹の屋敷については「四万坪の敷地」、「美術館」「牡丹畑」がある等、次郎と白洲正子の文章にも書かれており、その豪華さがうかがえる。

辻の碑

●伊丹市北伊丹1丁目89番地 ●市指定:昭和40年10月15日 ●史跡

西国街道と多田道の交差する辻に建つ。記録によると、この地が旧摂津国の国境からほぼ等距離(七里)、つまり"摂津のへそ(中央)"であることを示していた。

伊丹廃寺跡

●伊丹市緑ヶ丘4・5・7丁目地内 ●国指定:昭和41年3月22日 ●史跡

奈良の法隆寺と同じ伽藍配置で建てられた白鳳時代(8世紀初め)の寺院跡。昭和33年(1958)に基壇の一部を発見、昭和40年まで発掘調査が行われ、昭和41年に国指定史跡となった。金堂・塔の基壇や朱塗りのパーゴラ(北門跡)などが整備され、現在は史跡公園となっている。出土品は県指定文化財にも指定されている。

Dコース　鴻池神社 → 鴻池稲荷祠碑 → 清酒発祥モニュメント

鴻池神社（鴻池神社本殿）

●伊丹市鴻池6丁目377番地 ●県指定:昭和50年3月18日
●有形文化財(建造物)

17世紀初期の優れた神社建築。棟札には、拝殿建築の際、清酒発祥の地といわれる鴻池で、最初に清酒醸造を始めた山中氏(後の鴻池家)が援助したことが記されている。現在、本殿は覆屋の中に納められている。

鴻池稲荷祠碑

●伊丹市鴻池6丁目14番 ●市指定:平成3年12月26日 ●史跡

清酒発祥の地と伝えられる「鴻池」の児童公園内に建つ石碑。碑文によると、山中家始祖・幸元が、慶長5年(1600)、鴻池において「双白澄酒」(清酒)醸造に成功したことが、山中家繁栄の基礎になったと伝えられている。

清酒発祥モニュメント

●伊丹市鴻池6丁目8

平成12年(2000)11月、鴻池が清酒発祥の地と内外にアピールするため、鴻池まちづくり協議会が建立。モニュメントの地下は防火貯槽になっている。

摂津音頭

●伊丹市北部地域 ●市指定:昭和60年4月23日 ●民俗文化財(無形)

旧川辺郡長尾村・小浜村で踊られていた盆踊り。長尾村のうち荒牧・鴻池・荻野の地区は昭和30年(1955)に伊丹市、他の地区は宝塚市へ合併されたので、両市域に広く伝わる。歌詞の「チョイトカケタ」という囃し言葉は、この音頭独特のもの。

Eコース　御願塚古墳 → 須佐男神社

御願塚古墳

●伊丹市御願塚4丁目325番地他
●県指定:昭和41年3月22日 ●記念物(史跡)

古墳時代中期(5世紀後半)に築造された帆立貝式古墳。全長52m。馬蹄型に二重の濠がめぐっていた(現在は内濠のみ)。前方部から後円部に至るくびれ部分で祭祀場とみられる方形の造り出し部が、円筒埴輪列とともに発見されている。

平成4年度 撮影

平成10年度 発掘調査時の様子(造り出し部)

須佐男神社

●伊丹市御願塚3丁目10番5号 ●市指定:昭和47年7月11日 ●有形文化財(建造物)

本殿は正面の軒に唐破風をつけ、木部の極彩色は建立当時の面影を残しており大変貴重である。建立年代は17世紀中頃と推定されている。現在、本殿は覆屋の中に納められている。

摂州兵庫功徳盆踊り（むぎわら音頭）

●伊丹市南野地域 ●県指定:昭和52年3月29日
●民俗文化財(無形)

行基が猪名野笹原開発に際して、その従事者や住民の慰安と供養のために始めたと伝わる。餅つきや手拭い流しなど、生活様式を取り入れたユニークな踊り方もある。

Fコース　桑津神社境内社稲荷社 → 春日神社 → 岩屋遺跡

桑津神社境内社稲荷社（附 棟札1枚）

●伊丹市桑津1丁目2番30号
●県指定:平成27年3月10日 ●有形文化財(建造物)

本殿は、昭和17年(1942)の飛行場拡張工事に伴い、現在地へ移転・合祀された西桑津の火明神社本殿を転用したもの。棟札には、慶安元年(1648)伊丹の大工・善太夫家重の作と記されている。

春日神社（春日神社本殿・附 棟札2枚）

●伊丹市口酒井1丁目1番8号
●県指定:昭和51年3月23日 ●有形文化財(建造物)

屋根の形を除き、鴻池神社とほぼ同じ社殿構成の春日神社。彫刻や絵様の線から、鴻池神社より建立年代が下る。棟札には、鴻池神社拝殿造営時にもその名が見られる伊丹の鴻池居住の宮大工・松原氏の名が記されている。現在、本殿は覆屋の中に納められている。

岩屋遺跡

●伊丹市岩屋1丁目地内

いち早く稲作が始まった地域で、弥生時代の自然河川痕とその護岸施設、井堰や用水路の灌漑施設など、稲作に関わる遺構・遺物が発見された遺跡。発見された場所に堰の主要部分を伊丹スカイパーク内に復元し、実際の遺構は地下にそのまま保存している。

堰の一部復元

平成15年度 発掘調査時の様子
(提供:兵庫県立考古博物館)

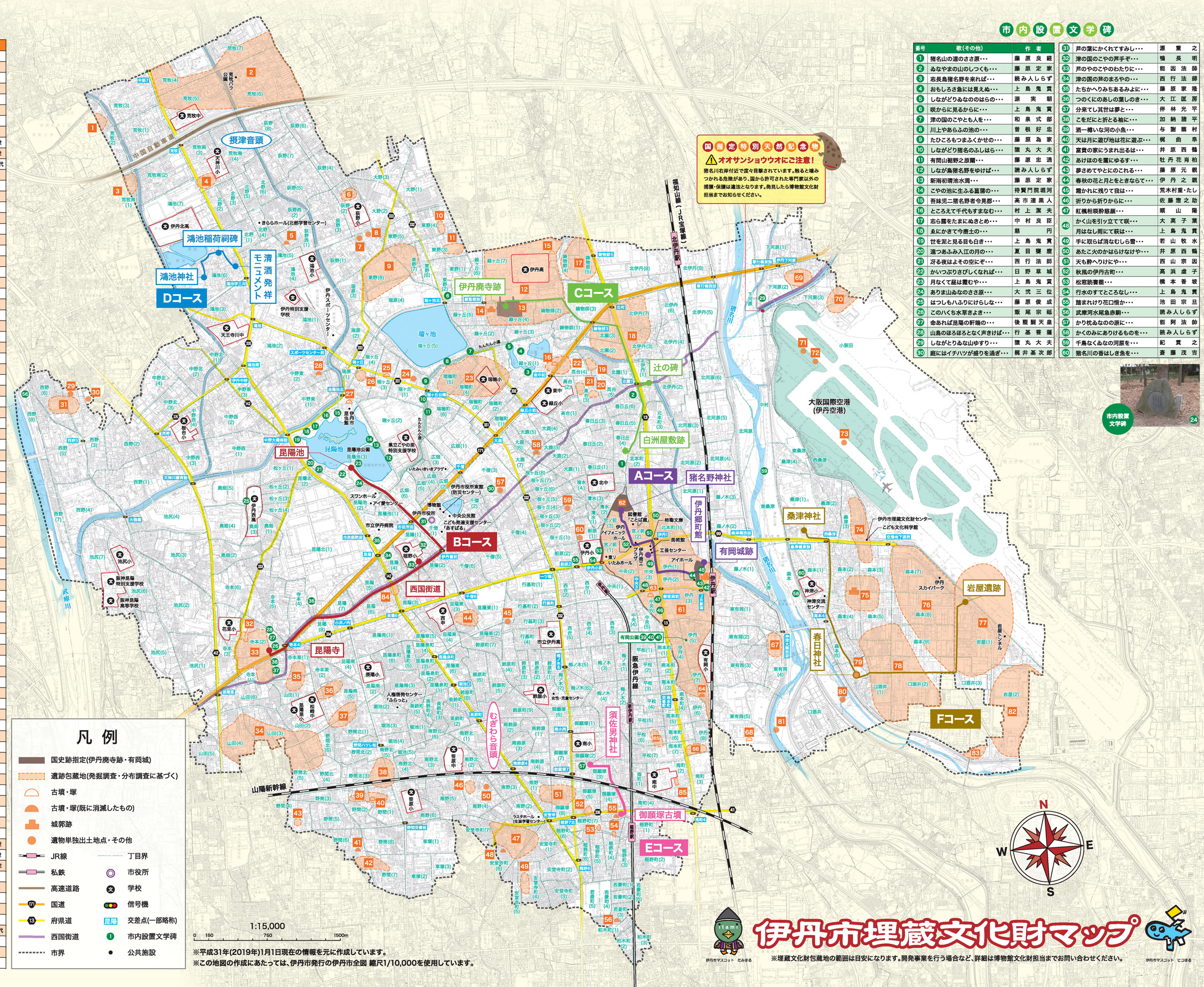
伊丹市の歴史【時代ごとの様子】

縄文	弥生	古墳	飛鳥・白鳳	奈良	平安	鎌倉	南北朝	室町	安土・桃山	江戸	明治	大正	昭和	平成
晩期には稲作が始まる	この時代の土器・石器・墓などが発見	御願塚古墳が造られる	伊丹廃寺建立	行基が昆陽上池・下池などを造る	「摂津名野」が和歌の歌枕として著名になる	古文書に「伊丹」の文字が見られる	高師直・武庫川付近で討たれる	荒木村重が伊丹城入城、有岡城に改名	有岡城・織田信長に攻められ落城	清酒醸造に成功し、酒造業が盛んになる	川辺馬車鉄道開業	阪急電鉄神戸線と伊丹支線が開通	大阪国際空港となる	岩屋遺跡で弥生時代の用水路と堰がみつかる イタミエアベースが返還 イタミエアベースが返還

【参考文献】
■『伊丹の文化財』伊丹市教育委員会 ■伊丹市ホームページ ■『いたみウォーキングマップ』伊丹市・株式会社ゼンリン神戸営業所
■『文学碑をたずねて』伊丹市文化財保存協会 ■『伊丹市史』伊丹市

埋蔵文化財包蔵地一覧

番号	遺跡名	所在地	時代
1	荒牧畔湛遺跡	荒牧2丁目	奈良時代～中世
2	荒牧遺跡	荒牧4丁目他	弥生時代～平安時代
3	荒牧戸ノ尻遺跡	荒牧南1丁目	奈良時代～中世
4	荒牧長野遺跡	荒牧南3丁目	中世
5	荒牧古墳	荻野1丁目	古墳時代？
6	荻野遺跡	荻野2丁目	弥生時代、奈良時代～平安時代
7	荻野マウンド1遺跡	荻野1丁目	江戸時代？
8	荻野マウンド2遺跡	荻野1丁目	江戸時代？
9	東野遺跡第1地点	東野8丁目他	古墳時代～奈良時代 中世
10	東野遺跡第2地点	東野4丁目他	奈良時代～平安時代 中世
11	東野遺跡第3地点	東野3丁目他	縄文時代 奈良時代～平安時代
12	緑ヶ丘遺跡	緑ヶ丘7丁目他	古墳時代～中世
13	伊丹廃寺跡	緑ヶ丘4丁目	奈良時代～平安時代
14	猿ヶ山城跡	緑ヶ丘5丁目	中世
15	緑ヶ丘1号墳	緑ヶ丘7丁目	古墳時代
16	緑ヶ丘2号墳	緑ヶ丘1丁目	古墳時代
17	北村遺跡	鋳物師4,5丁目	弥生時代～中世
18	北園遺跡	北園2丁目他	古墳時代～中世
19	高台遺跡第1地点	高台5丁目	古墳時代
20	高台遺跡第2地点	高台3丁目	中世
21	高台遺跡第3地点	高台3丁目	弥生時代 古墳時代 中世
22	高台遺跡第4地点	高台4丁目	弥生時代～古墳時代
23	大鹿遺跡	瑞穂町4丁目他	奈良時代～平安時代
24	大鹿城ノ中遺跡	瑞ヶ丘1丁目	奈良時代～平安時代
25	瑞ヶ池畔塚	瑞ヶ丘3丁目	不明
26	大鹿玉田遺跡	瑞ヶ丘4丁目	奈良時代～平安時代
27	昆陽池北東畔塚	昆陽池公園内	不明
28	中野古墳	中野東2丁目	古墳時代
29	西野マウンド1遺跡	西野3丁目	江戸時代？
30	西野マウンド2遺跡	西野3丁目	江戸時代？
31	西野遺跡	西野3丁目他	弥生時代～古墳時代
32	寺本猪名野神社境内遺跡	寺本2丁目	平安時代～鎌倉時代
33	昆陽寺境内遺跡	寺本2丁目	奈良時代～中世
34	山田遺跡	山田2丁目他	奈良時代～中世
35	寺本遺跡	寺本東1丁目他	奈良時代～平安時代
36	昆陽黒田遺跡	昆陽南5丁目	奈良時代～平安時代
37	山田有堀遺跡	野間北1丁目	奈良時代～平安時代
38	堀池遺跡	野間北3丁目	弥生時代～平安時代
39	野間東ノ口遺跡	野間2丁目他	奈良時代～平安時代
40	一本松遺跡	野間1丁目	不明
41	狐塚古墳	野間6丁目	古墳時代
42	野間森本遺跡	野間6丁目他	弥生時代
43	野間若宮遺跡	野間4丁目	奈良時代～平安時代
44	昆陽林田遺跡	昆陽東1丁目他	奈良時代～平安時代
45	昆陽石敷出土地点	行基町2丁目	弥生時代
46	南野出口遺跡	南野4丁目	古墳時代
47	南野遺跡	安堂寺町6丁目他	古墳時代～中世
48	平塚古墳	安堂寺町6丁目	古墳時代
49	安堂寺遺跡	安堂寺町4丁目	古墳時代
50	了福寺墓地	南野4丁目	室町時代
51	御願塚遺跡第1地点	御願塚8丁目他	奈良時代～平安時代
52	御願塚遺跡第2地点	御願塚5丁目	奈良時代～平安時代
53	御願塚遺跡第3地点	稲野町7丁目	奈良時代～平安時代
54	御願塚遺跡第4地点	稲野町7丁目	奈良時代～平安時代
55	御願塚古墳	御願塚4丁目	古墳時代
56	柏木古墳	柏木町1丁目	古墳時代
57	千僧遺跡	千僧2丁目	中世
58	大鹿お塚	大鹿6丁目	中世
59	桜ヶ丘遺跡	桜ヶ丘3丁目	縄文時代
60	伊丹小学校遺跡	船原1丁目	弥生時代～古墳時代
61	有岡城跡・伊丹郷町遺跡	伊丹1丁目他	中世～近世 郷分町に縄文、弥生、古墳、奈良、平安時代
62	有岡城跡岸ノ砦跡	宮ノ前3丁目他	中世
63	有岡城跡女郎塚砦跡（女郎塚古墳）	中央6丁目	古墳時代 中世～近世
64	有岡城跡鶯塚砦跡（鶯塚古墳）	伊丹7丁目	古墳時代 中世～近世
65	平松町遺跡	平松町6丁目	奈良時代～平安時代
66	南本町遺跡	南本町7丁目他	古墳時代～中世
67	松原遺跡	東有岡4丁目	弥生時代～古墳時代
68	黄金塚古墳	東有岡5丁目	古墳時代
69	下河原遺跡	下河原2丁目	弥生時代～古墳時代
70	小阪田遺跡	下河原3丁目	弥生時代～平安時代
71	中村遺跡	大阪国際空港	縄文時代～古墳時代
72	大阪空港遺跡A地点	大阪国際空港	縄文時代～古墳時代
73	大阪空港遺跡B地点	大阪国際空港	縄文時代 弥生時代
74	西桑津遺跡	桑津3丁目他	弥生時代～奈良時代 中世
75	森本屋敷遺跡	森本2丁目他	弥生時代～古墳時代 中世
76	森本遺跡	森本8丁目他	縄文時代～奈良時代 中世
77	岩屋遺跡	岩屋1丁目他	古墳時代～奈良時代
78	口酒井遺跡	口酒井2丁目他	縄文時代～古墳時代
79	口酒井春日神社境内遺跡	口酒井1丁目	奈良時代～平安時代
80	口酒井猪名川河原遺跡	口酒井字東河原	古墳時代？ 奈良時代？
81	口酒井瀬川河原遺跡	口酒井字大西	古墳時代？ 奈良時代？
82	原田西遺跡	岩屋2丁目他	弥生時代～古墳時代 平安時代
83	田能遺跡	岩屋字鶴田	弥生時代
84	南辻遺跡	昆陽3・6丁目	中世 近世
85	南町遺跡	南町2丁目	古墳時代～中世



凡例

- 国史跡指定(伊丹廃寺跡・有岡城)
- 遺跡包蔵地(発掘調査・分布調査に基づく)
- 古墳・塚
- 古墳・塚(既に消滅したもの)
- 城郭跡
- 遺物単独出土地点・その他
- JR線
- 私鉄
- 高速道路
- 国道
- 府県道
- 西国街道
- 丁目界
- 市役所
- 学校
- 信号機
- 交差点(一部略称)
- 市内設置文学碑
- 公共施設

※平成31年(2019年)1月1日現在の情報を元に作成しています。
※この地図の作成にあたっては、伊丹市発行の伊丹市全図 縮尺1/10,000を使用しています。

市内設置文学碑

番号	歌(その他)	作者
1	猪名山の道のささ原・・・	藤原良経
2	ゐなやまの山のしつくも・・・	藤原定家
3	忘長鳥猪名野を来れば・・・	読み人しらず
4	おもしろさ急には見えぬ・・・	上島鬼貫
5	しながどりゐなののはらの・・・	源実朝
6	咲からに見るからに・・・	上島鬼貫
7	津の国のこやとも人を・・・	和泉式部
8	川上やあらふの池の・・・	曽根好忠
9	たひころもつまふくかせの・・・	藤原為家
10	しながどり猪名のふしはら・・・	猿丸大夫
11	有間山猪野之原爾・・・	藤原忠通
12	しなが鳥猪名野をゆけば・・・	読み人しらず
13	新雨初晴池水満・・・	藤原定家
14	こやの池に生ふる菖蒲の・・・	待賢門院堀河
15	吾妹児ニ猪名野者令見都・・・	高市連黒人
16	ところえて千代もすまなむ・・・	村上潔夫
17	志ら露をたまにぬきとめ・・・	中村良臣
18	糸にかきて今唐土の・・・	慈円
19	世を泥と見る目も白き・・・	上島鬼貫
20	遥つあふみ入江の月の・・・	夏目雙廬
21	冴る夜はよその空にぞ・・・	西行法師
22	かいつぶりさびしくなれば・・・	日野草城
23	月なくて昼は震むや・・・	上島鬼貫
24	あり末山ゐなのささ原・・・	大弐三位
25	はつしもハふりにけらしな・・・	藤原俊成
26	このハくち水草きよさ・・・	飯尾宗祇
27	命あれば昆陽の軒端の・・・	後鳥羽天皇
28	山鳥のほろほろとなく声きけば・・・	行基菩薩
29	しながどりゐな山ゆすり・・・	猿丸大夫
30	庭にはイチハツが盛りを過ぎ・・・	梶井基次郎
31	芦の葉にかくれてすみし・・・	源重之
32	津の国のこやの芦手ぞ・・・	鴨長明
33	芦のやのこやのわたりに・・・	能因法師
34	津の国の芦のまろやの・・・	西行法師
35	たちかへりみちあるみよに・・・	藤原家隆
36	つのくにのあしの葉しのき・・・	大江匡房
37	分来てし其世は夢と・・・	俳林光平
38	こをだにと折とる袖に・・・	加納諸平
39	酒一樽いな河の小魚・・・	与謝蕪村
40	天は月に遊び地は花に遊ぶ・・・	梶曲阜
41	富貴の家にうまれ出るは・・・	井原西鶴
42	あけぼのを置にゆるす・・・	牡丹花肖柏
43	夢さめてやとにのこれる・・・	藤原元眼
44	春秋の花と月とをときならで・・・	伊丹之親
45	霜かれに残りて我は・・・	荒木村重・たし
46	折りから折りからに・・・	佐藤惣之助
47	紅楓相映酔慈顔・・・	頼山陽
48	かく山を引っ立てて咲・・・	大高子葉
	月はなし雨にて咲は・・・	上島鬼貫
49	手に取らば消なむしら雪・・・	若山牧水
50	あたこ火のかはらけなけや・・・	井原西鶴
51	天も酔へりけにや・・・	西山宗因
52	秋風の伊丹古町・・・	高浜虚子
53	松窓読書罷・・・	橋本香坡
54	行水のすてところなし・・・	上島鬼貫
55	踏まれけり花口惜か・・・	池田宗旦
56	武庫河水尾急赤駒・・・	読み人しらず
57	かり枕ななのの原に・・・	能阿法師
58	かくのみにありけるものを・・・	読み人しらず
59	千鳥なくゐなの河原を・・・	紀貫之
60	猪名川の香はしき魚を・・・	斎藤茂吉